



2025
Mar

ひざかけの効果

部屋の暖房は天井側を暖めます

空気は暖めると軽くなり、冷やすと重くなります。部屋で暖房をつけると暖気は上に行き、冷気は壁や窓を伝って床に溜まります(図1)。床と天井の温度差は、部屋の広さや断熱材によりますが3~5℃とわれています(図2)。

立位の方が暑くても、車椅子の方にとっては涼しい・寒いことがあります(図2)。温度調節が困難な方は**自律神経系が働き出すのに時間がかかり、低体温症や発熱に気付かない**といったリスクが高まります。

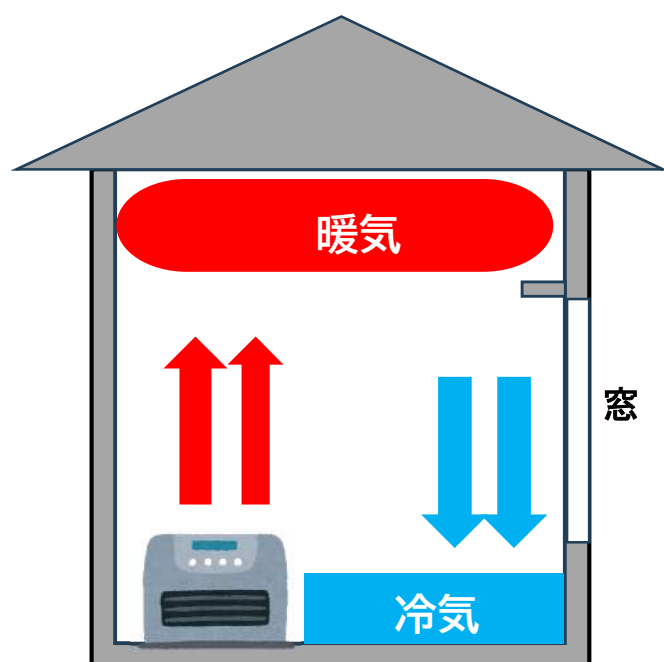


図1 室内の空気の動き

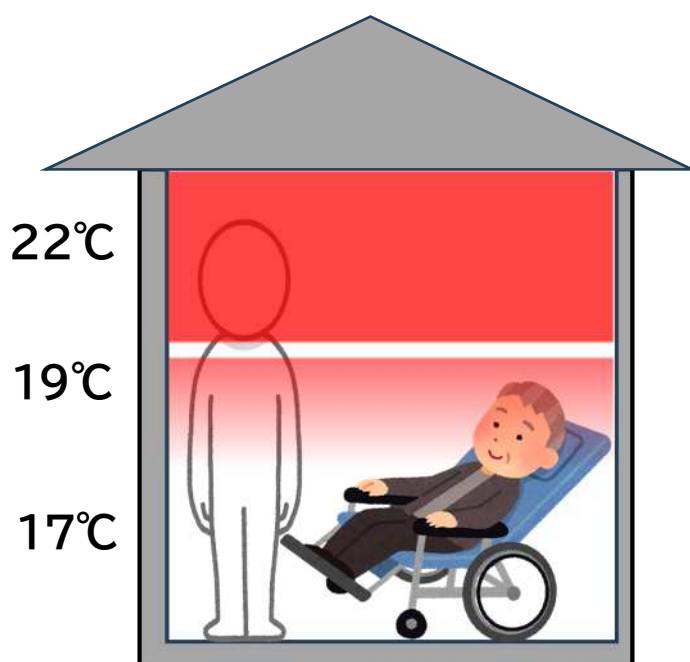


図2 床と天井の温度差
(室内温度22℃、外気温-5℃の場合)

ひざかけは夏・冬ともに効果があります



ポリエステルや混紡のひざかけをかけると、かけた部分の温度が2~3℃上昇することが確認されています。ウールは4~5℃と高めです。ひざかけは冬だけでなく、夏の冷房からも身を守ってくれます。

ひざかけは、体温の管理に大事な働きをしています。